

一冊の本と出会い、
一歩踏み出せば人生はかわる

喜多川泰氏

作家・聡明舎 代表

講演会

Profile

喜多川泰（きたがわ やすし）
1970年生まれ、愛媛県出身。東京学芸大学卒業。
1998年に横浜で、笑顔と優しさ、挑戦する勇気を育てる学習塾「聡明舎」を創立。人間的成長を重視した、まったく新しい塾として地域で話題となる。
2005年から作家としても活動を開始し、『賢者の書』にてデビュー。
2作目となる『君と会えたから…』は9万部を超えるベストセラーとなった。
その後も、『手紙屋』『手紙屋 蛍雪篇』、『「福」に憑かれた男』、『心晴日和』など次々に作品を発表。
2010年に出版された『「また、必ず会おう」と誰もが言った。』は12万部を突破し、
2013年9月には映画化され全国公開となり、2014年9月から台湾でも劇場公開された。
その後も『母さんのコロッケ』、『スタートライン』と続き、
最新作の『株式会社タイムカプセル社』にて全15作品となる。
現在は多数の作品が台湾、韓国、中国でも翻訳出版され、その活躍は国内にとどまらない。

開催日時 平成28年 **5/14(土)**
14:00~16:00(開場13:00)

本、人、非日常との出会い、
行動することの大切さをもっと
たくさんの方々に知っていただきたい
という想いの下、ロングセラー作家
喜多川泰氏の講演会を下記の通り開催致します。
あなたも人生を変えてみませんか？

開催会場 九州産業大学 1号館 S201教室
福岡県福岡市東区松香台2-3-1 (JR九産大前駅より徒歩1分)

参加費 3,000円(一般)
定員 300名

無料

九州産業大学
在学生のみ
270名限定

チケット申込み 喜多川泰氏講演会2016 in福岡 事務局

こくちーず

<http://kokucheese.com/event/index/368538/>

問合せ ホームページ <http://fukuoka-kitagawayasushinokai.jimdo.com>

問合せ メール f.kitagawayasushinokai@gmail.com



喜多川泰氏の著作のご紹介

◇賢者の書

一冊の本が、人生に絶望した男の運命を変えた。少年サイドが、賢者と出会う旅を通じて人生に成功をもたらす教養を学んでいく物語。喜多川作品の原点が新装版で登場。

ディスカヴァー・トゥエンティワン(2005/1/31)

◇君と会えたから…

9万部突破!



もし「明日」が無期にあるわけではないとしても、今日と同じような今日を生きますか?

無気力な毎日を送る高校生のヨウスケがある日、美しい女の子と出会う。その出会いをきっかけにヨウスケの人生は大きく動き始めた。読書普及研究所、本のソムリエによる2007年年間ランキング1位獲得!

ディスカヴァー・トゥエンティワン(2006/7/10)

◇手紙屋

8万部突破!



「幸福と成功」

黄色の人生指図である。結果的に人生指図である。結果的に人生指図である。結果的に人生指図である。

やりたいことを見つけれず就職活動に出遅れた大学生諒太と「手紙屋」との運命的な出会い。「働く」とは何かを熱く伝える不朽の名作。多くの就活生そして企業のバイブル。

ディスカヴァー・トゥエンティワン(2007/8/15)

◇手紙屋蜚雪篇

4万部突破!



「どうして勉強しなきゃいけないの?」進路と将来に悩む女子高生、和花と手紙屋との出会い。そして手紙を通じて発見される新しい自分との出会い。「勉強する目的」がわかる一冊。

ディスカヴァー・トゥエンティワン(2007/12/28)

◇「福」に憑かれた男

5万部突破!



小さな書店を継ぐことになった秀三。大型書店の進出やコンビニが隣接し、ドンドン悪くなる経営状態をどう乗り越えていくのか…。本のソムリエによる2008年年間ランキング1位獲得!

総合法令出版(2008/9/24)

◇上京物語



故郷から東京の大学へ進学することになった祐介。父親が旅立つ息子に贈った贈り物とは…。これから上京を控えた親子に、故郷から上京してきたすべての人に贈るメッセージ。

ディスカヴァー・トゥエンティワン(2009/2/18)

◇本調子2 プロは逆境でこそ笑う



様々な分野で活躍されているトップランナーが集結。喜多川泰はもちろん、清水克衛、西田文郎、出路雅明、植松務といったそうそうたるメンバーからの熱いメッセージ<共著作品>

総合法令出版(2009/4/27)

◇心晴日和



「小さな心がけ一つで幸、不幸はコントロールできる!」「絶望」が「希望」に変わる奇跡のストーリー。悩み多き人生に差し込む一筋の光。働く女性必読の心にしみる一冊。

幻冬舎(2010/2/25)

◇「また、必ず会おう」と誰もが言った。



主人公の・秋月和也は熊本県内の17歳。自分を良く見せるためについたウソがきっかけで、単身ディズニーランドへと行く羽目に。ところが、不運が重なり最終便の飛行機に乗り遅れドラマが始まる

12万部突破! 2013年 映画化
サンマーク出版(2010/11/18)

◇母さんのコロケ



脱サラして塾を立ち上げた主人公・秀平。ある飴を食べてから見た夢は家族の歴史そのものだった。懸命に命をつなく、ひとつの家族の物語。

大和書房(2011/9/9)

◇スタートライン



将来に不安を抱えたまま勉学に勤しむ主人公。多感な高校生の、ほのかな恋愛ストーリーの中にちりばめられた、「夢」を持つ全ての人に贈るメッセージ。

ディスカヴァー・トゥエンティワン(2012/7/14)

◇おいべっさんと不思議な母子



子どもたちの世界とその親世代の生き方をテーマに繰り広げられるちょっとファンタジックな雰囲気を感じさせる作品。おいべっさんとは何か? 不思議な母子はどこからやってきたのか?

サンマーク出版(2014/1/9)

◇ライフトラベラー



小さな旅の中に、人生の旅の全てが詰まっている。あなたの人生を変える、約束された出会いが待っている。ほとんどすべてが(自由)な(自由な旅)をめぐる物語。

ディスカヴァー・トゥエンティワン(2013/8/12)

◇One World



「僕たちの世界は、ひとつにつながっている。」少年野球、サービスマン、卒業式、バレンタイン、超能力、就活、日本、出稼ぎ、「縁(えにし)」をつなげる長編小説。

サンマーク出版(2014/10/22)

◇書齋の鍵



2055年、東京。大手医療機器メーカーに勤める浩平が突然受け取った父の計報。生前親交が薄れていた父が、浩平に残した唯一の遺産、それは、鍵がかかったままの「書齋」だった…。

現代書林(2015/6/3)

◇株式会社タイムカプセル社



人生は、いつでも、何度でも、どこからでも、やり直せる。十年前の自分が未来の自分に宛てて書いた手紙。自分が素直な気持ちで実現したかった夢、抱いていた希望に気づく。

ディスカヴァー・トゥエンティワン(2015/11/19)